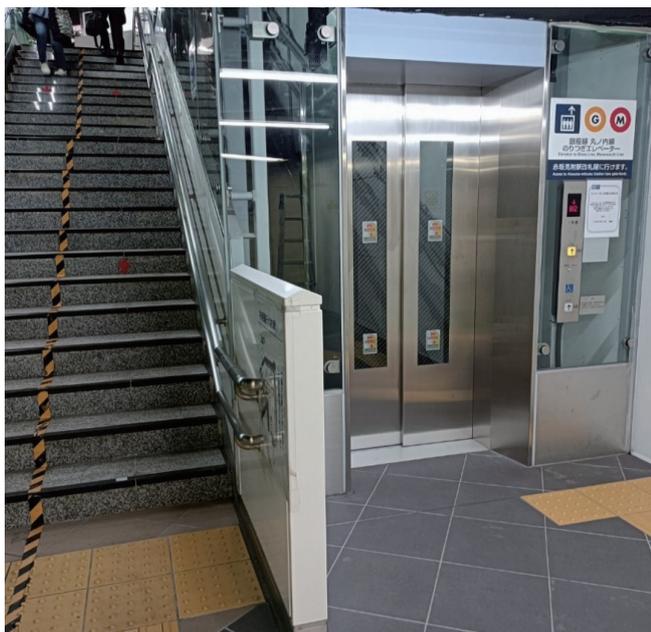


とっておきの一台



昇降機 B3 階乗場

【省スペース型斜行エレベーター】 東京メトロ 永田町駅

迫野 仁
(Hitoshi Sakono)

株式会社 日本ビルテクノス

1. はじめに

東京オリンピック、パラリンピックを契機に国内のバリアフリー化は急ピッチで進められてきました。

しかし、現状の既設建物改修は構造、強度及び耐震性において問題が山積しており思う様に進められない状況となっています。

そこで、これからのバリアフリー化の一環として「省スペース型斜行エレベーター」が東京メトロ永田町駅に設置されました。

既存の階段部分を利用することにより、建築躯体構造の掘削を出来る限り最小限に抑え、工期の短縮と省スペース化を図ることで、トータルの経費削減を実現しています。

また、戸開走行保護装置を初めとした新しい安全基準に適合した上で、機械室を排し、かごや乗場の構造に新技術を取り入れ、省スペース化を追求しました。

高齢化社会の到来が叫ばれて久しい昨今、障がいを持たれる方たちだけの問題ではなく、誰もが利用しやすく

なるバリアフリーの環境整備へ貢献できればと考えています。

2. 建物概要

所在地：東京地下鉄半蔵門線永田町駅

建築主：東京地下鉄株式会社

設計監理：メトロ開発株式会社

施工：東亜建設工業株式会社
株式会社 日本ビルテクノス

建築用途：地下連絡通路

竣工日：2021年7月9日

3. 昇降機設備

東京都内での設置は初となります。

かごは前後2方向出入口型式の斜行エレベーターです。

両端階床の敷居は可動式になっており、かご衝突を防ぐ構造です。また、戸開走行保護装置は常時作動型のフックが装備されています。



東京メトロ 永田町駅について

1974年10月30日に有楽町線永田町駅として開業し、現在は有楽町線、半蔵門線、南北線が乗り入れる駅となっている。

永田町駅と赤坂見附駅は地下連絡通路で結ばれており、東京メトロ全9路線のうち5路線が接続する駅である。

また、永田町駅は衆、参両議員会館があり政治の中心地域である。

とっておきの一台



全体図 B2階からの視点

仕様

用途	乗用ロープ式斜行型エレベーター
制御方式	インバーター
積載/定員	750kg/11名
定格速度	25m/min
運転操作方式	乗合全自動方式
停止階及び階数	B2、B3階 2停止
昇降行程	9,226mm (勾配30度)
かご寸法	間口1,350mm×奥行き1,400mm×高さ2,250mm
出入口寸法	幅900mm×高さ2,100mm (2方向出入口)
出入口型式	2枚戸



B2階乗場



B3階乗場



側面階段側からの視点



側面階段側からの視点



かご内



かご内操作盤